



**がんと共に生きる時代**

生涯でおよそ2人に1人ががんになる、決して他人ごとではない時代です。ほとんどのがんは、早期のうちには自覚症状がありませんが、早期に発見すれば、90%以上が治るといわれています。

**胃がん・大腸がん検診**

【問合せ】保健課

☎7733-6811

**胃がんとは**

胃がんは、胃壁の内側にある粘膜にできるがんです。喫煙や塩分の多い食品の摂取など、生活習慣によって胃がんの発生率が高まるといわれています。罹患率は男性1位、女性3位です。がんの部位別死亡率は、男性2位、女性4位です。

**胃がんの症状**

胃が重く感じる、食欲不振、嘔吐、下痢、便秘、黒い便などの症状が出てきます。

**胃がん検診とは**

市の胃がん検診では、胃X線（レントゲン）検査を行います。発泡剤で胃を膨らませ、バリウムを含む造影剤を飲んで体を動かし、胃の粘膜全体に造影剤を行き渡らせながらX線を連続的に照射し、撮影します。

**大腸がんとは**

大腸がんは、大腸（結腸、直腸）にできるがんです。近年、食生活の欧米化により急増しています。がんの部位別死亡率は、男性が3位、女性が1位と上位を占めています。

**大腸がんの症状**

進行すると、腹痛や出血、便秘、下痢、便が細くなる、残便感などの症状が出てきます。

**大腸がん検診とは**

大腸がん検診では、便潜血検査を行います。便を採取し、血液が混ざっているか検査します。

**検診は何歳から受けられる？**

国の指針に基づき、市の胃がん・大腸がん検診は、40歳以上が対象です。

自覚症状がある場合や心配な場合は、年齢や検診時期に関わらず、早めに医療機関を受診し、医師に相談しましょう。

市の胃がん・大腸がん検診結果

年度(平成)	胃がん検診			大腸がん検診		
	28	29	30	28	29	30
受診者数(人)	3,879	3,768	3,750	6,883	6,568	6,570
要精検者数(人)	111	147	180	476	456	386
精検受診率(%)	88.2	85.7	90.0	78.2	81.8	78.8
がん発見数(人)	1	3	3	20	13	16

**胃がん・大腸がん検診の費用は？**

胃がん検診は、1,000円、大腸がん検診は、500円です。75歳以上は、無料です。医療機関よりも安く受診できます。

**精密検査の内容**

胃がん・大腸がんの精密検査では、内視鏡検査を行います。先端に小型のカメラを搭載した細長い管を、胃がん検査では口か鼻から、大腸がん検査では肛門から挿入し、胃や大腸などの消化器官を観察します。

どちらのがんも診断方法と治療法が向上し、早期発見により治癒率が上がりました。

**家族ががんになったら**

がんになった本人への接し方すべての患者が、がんになったからといって、気を使われたり、励ましてもらおうことを望んでいるわけではありません。まずは、本人の考えや思いを理解することが大切です。

**情報とうまく付き合おう**

がんの種類や進行度によって状態はさまざまで、いろいろな情報があふれています。主治医に病状や今後の治療について相談し、不安を解決しましょう。

**家族は自分自身も大切に**

家族は、がんになった本人と同じように精神的負担がかかります。「第二の患者」ともいわれています。本人をサポートするためにも、家族自身も自分をいたわりましょう。

